

案内

待降節 (アドヴェント=Advent)

アドヴェントは「到来」を意味し、クリスマスに先立つ四週間、主イエス・キリストの誕生を迎える心の準備をする時です。この期間、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷は紫色となります。この色は悔い改めを表しています。

大学聖歌隊クリスマス奉唱会

日 時 12月3日(土) 18時開演
場 所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

大学ハンドベル・クワイア 第28回クリスマス・チャペルコンサート

日 時 12月10日(土) 17時30分開演
場 所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

大学クリスマス礼拝

青山キャンパス(昼間部・第二部合同)

日 時 12月13日(火) 18時~19時15分
場 所 ガウチャー記念礼拝堂
説 教 藤掛 順一 (横浜指路教会牧師)

相模原キャンパス

日 時 12月15日(木) 17時50分~19時5分
場 所 ウェスレー・チャペル
説 教 藤 本 満 (インマヌエル高津キリスト教会牧師)

Wesley Hall News No.107 が発行されました。

各キャンパス宗教センター、礼拝堂で配布しています。ぜひお読み下さい。

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切ってください。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

青山学院大学礼拝週報

2011.11.28.
No. 25

待降節第1週

青山学院の歩み [24]

マイラ・ベル・ムーン (Mira Bell Moon)

ムーンは米国オハイオ州の出身で、1913(大正2)年に来日して青山学院の中学部と高等学部の英語教師となりました。同時に始めた課外活動「バイブル・クラス」は毎回200名以上が集まるという盛況ぶり、生徒からよく慕われた教師でした。正式機関から派遣された宣教師ではなく、学院経営に参画することもない一講師でしたが、その深い信仰、教育にかける情熱、そして身をもって示された愛は、同僚や教え子たちに大きな影響を与えました。

1935(昭和10)年2月11日のこと、青山南町4丁目を歩行中、タクシー運転手の不注意からムーンは重症を負うという事故に遭いました。しかし彼女の口からもれたのは、苦痛と呪詛の言葉ではなく、運転手へのひたすらなとりなしの言葉でした。彼をかばい、貧しい家庭をかえりみてやまぬムーンの言葉に、本人はもちろんのこと、枕頭に集まった人々から警察関係者にいたるまで感涙にむせたということです。そしてそれが翌々13日に召天した彼女の遺言となりました。



今年度の主題聖句

夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを
脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。

(ローマの信徒への手紙 第13章12節)